

研究課題名「外来心臓リハビリテーション参加者のヘルスリテラシーと身体活動量との関連」に関する情報公開

1. 研究の対象

2022年8月から10月の期間において名古屋掖済会病院の外来心臓リハビリテーションに参加している患者様

2. 研究目的・方法・研究期間

心臓リハビリテーションに参加することは体力の向上や健康を維持することに効果があります。さらに、心臓リハビリテーションに通院する日以外も運動習慣をつけることで、より高い効果が得られることが分かっています。そのため、心臓を治療されている方に少しでも運動習慣を付けていただく支援方法を考えることが重要だと考えています。

そこで私たちは、ヘルスリテラシーに着目した運動指導の方法を検討しています。ヘルスリテラシーは健康に関する情報を入手し、理解し、活用する能力です。一般的に、このヘルスリテラシーが高い人ほど運動習慣が良く、病気の予防に繋がると報告されています。しかし、心臓を治療されている方を対象に調査した研究はありません。

心臓リハビリテーションに参加されている方において、ヘルスリテラシーと身体活動量との関連を検討することは、お一人おひとりにあった運動指導の方法に繋がると考えています。そこで、本研究の目的は、外来心臓リハビリテーションに参加されている方のヘルスリテラシーと身体活動量との関連を調査することとしました。

本研究は名古屋掖済会病院で実施されている「心疾患患者における屋外活動状況と熱中症予防に関する知識およびヘルスリテラシーの関連」の調査データを二次的に使用させていただくものです。患者様に新たな検査を行うものではありません。今回は上記研究で調査された結果を二次的に利用させていただきます。

研究期間：実施承認日から2023年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

ヘルスリテラシー（HLS-14）、身体活動量（IPAQ short version）、座位行動に関するアンケート、年齢、性別、身長、体重、基礎疾患、既往歴/併存疾患、処方薬剤、要介護認定、同居家族の有無、歩行補助具の有無と種類 等

データの取り扱いについて

名古屋大学が名古屋掖済会病院から提供を受けるデータは個人を特定できる情報を一切含みません。そのため、本研究を実施することで、研究にご協力いただいた方の個人情報が流出することはありません。そのように、個人が分からないようにしたデータファイル

にはパスワードをかけ、パスワード付き USB を用いて名古屋大学医学部保健学科内の鍵付きロッカーにて厳重に保管します。データ解析は、パスワード管理が可能な研究用 PC でのみ行い、個人の PC では実施しません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先（研究責任者）：

名古屋大学医学部保健学科理学療法学専攻

教授 内山 靖

〒461-8673 名古屋市東区大幸南 1-1-20

TEL/FAX 052-719-3155

メールアドレス uchiyama@met.nagoya-u.ac.jp

苦情の受付先：

名古屋大学医学部保健学科 総務係

電話 052-719-1504